言祝ぎ

作・イトウワカナ

長女・美香子～ミカコ～　３８歳

長男・英一（エイイチ）３４歳

次女・愛子（アイコ）　３１歳

２０１２年　元旦の昼

長女・美香子だけが住む、三人きょうだいの実家の居間

溶暗

海老一染之助・染太郎の「おめでとうございまーす！」の声のあと、

「チーン」と響く、鈴（リン）の音。

明かりつくと、

次女・愛子、体育座りでテレビを見ている。

テレビからは、お笑い芸人の「あけましておめでとうございまーす！」の声。

さんさんと陽が入る部屋。

料理ののったテーブル。

きれいな割りばし、きれいなおしぼり、など、お正月仕様の食卓。

お雑煮はない。

仏壇には、写真立てがひとつと、鈴が置いてある。

長女・美香子、お重と小さな皿を運んでくる。テーブルへ置く。

美香子、去る。

愛子、お重へ眼をやる。

すぐに、仏壇へ眼をやる。

愛子、鈴を持って去る。

すぐに、何も持たずに出てくる。

また、体育座りでテレビを見る。

テレビから笑い声。

愛子　ははははは。

と、笑っているのかいないのか、という笑い声。

笑っているような、いないような、微妙な表情。

美香子、皿をもって出てくる。

愛子　はははは。

と、また、笑っているのかいないのか、という笑い声。

美香子　愛子、おもしろいの？

愛子　おもしろいよ。（テレビを見ながら）

美香子　おもしろくなさそう。

愛子　あ、ほんと？おもしろいよ。（テレビを見ながら）

美香子　へぇ。

愛子　あ、うるさい？テレビうるさい？

美香子　うるさくはないけど。

愛子　・・・なんか手伝う？

美香子　大丈夫。

愛子　うん。

美香子　・愛ちゃん、やっぱテレビ、

愛子　（遮るように）この人、寝てないよね、昨日から。昨日も出てたよ。（テレビをさして）

美香子　稼ぎ時なんだよ。大みそかから三が日。

愛子　クマひどい。（テレビを見て）

美香子　たいへんだね。（テレビを見て）

愛子　ねぇ。（相槌）

美香子　ねぇねぇ。

愛子　ん？

美香子　お箸。

愛子　うん。

美香子　高いやつにしちゃった。

愛子　ほんとだぁ。ゴージャス。

美香子　でしょう。

愛子　ちゃんと割れるやつだね。

美香子　竹。

愛子　これはいいよ。

美香子　そうでしょう。

愛子　おしぼりも新しい？

美香子　そう！　よく気づいたね。

愛子　だって、生地がボソボソしてないもん。

美香子　お正月だからね。

愛子　いいねぇ、お正月。

美香子　そうねぇ。

愛子　テレビいっぱい見れる。

愛子、会話の途中からテレビを見ながら喋る。

が、笑っているのか、笑っていないのか、微妙な表情。

美香子　愛子、テレビ、おもしろいの。

愛子　おもしろいよ。

美香子　へぇ。

愛子　え、なに。

美香子　どっちつかずな顔してたから。

愛子　あ、ほんとに？　うわぁ、どうしよう。

美香子　なにー？

愛子　一人暮らし長いから。

美香子　だから？

愛子　一人が長すぎておもしろさを表現できなくなってるの、わたしの顔。一人が長い人はそうなっていく。

美香子　わたしのほうが一人、長いじゃない。

愛子　わたしでさえこうなんだからお姉ちゃんなんか重症だよ。重症。

美香子　そんなことはないよ。

愛子　一人だとね、おもしろさを伝える必要がないわけ。他に誰もいないから。

美香子　まぁ、そうだけど。

愛子　おいしいーとかもそうだよ。伝える必要がないわけ。他に誰もいないから。そうやって、退化してゆくわけですよ、

美香子　表情が。

愛子　怖い！

美香子　無表情でおもしろーいとか、おいしーいとか言いながら暮らしているわけですよ。

愛子　怖い！

美香子　表情というのは社会性なんですよ。お姉さん。

愛子　愛ちゃん、賢いねぇ。

美香子　そうでしょう。

愛子　あー。一人暮らし、怖い。

美香子　表現力って使わないと落ちてゆくんですよ、お姉さん。

愛子　なんでもそうでしょう。

美香子　そうお？

愛子　使わないほうがいいものなんて、ある？

美香子　お金。